

【理学部第一部応用化学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

所定の単位を修得することにより、以下の素養と実力を身に付けた人材に対して卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。4年次に研究室に所属し、卒業研究を履修し、知識に偏らず最先端の実験・研究を体得し、単位を取得することが望ましい。

1. 化学及び関連する分野（数学・物理・生物・地学）を含めた自然科学全般の十分な基礎学力と高度で幅広い専門的知識・技能を身に付けた能力。
2. 化学を中心とする基礎学力を基盤として、物質、生命、環境、エネルギーなど我々を取り巻く様々な課題を解析し、柔軟に対応し、解決していく素養と実力を身に付けた能力。
3. 1, 2より修得した専門知識や教養をもとに、論理的・批判的に思考し、積極的に取り組むことのできる判断力・行動力。
4. 住みよい社会の実現に取り組むために、化学を中心とする自然科学のみならず人文科学、社会科学も含めた幅広い教養と高い倫理観と豊かな国際性を身に付けた能力。
5. 化学を中心とする基礎学力と高度で幅広い専門的知識・実験技能を習得した上で、専門分野に応じたキャリアを形成し、自己を管理する能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

1. 応用化学科では、化学の「基礎科目」に加えて、多彩な選択科目を用意することにより、幅広い領域を勉強できるチャンスを与える。
2. 1,2年次では、基礎知識の完全な習得を達成させる。また、社会的応用への広い視野を持った科学者を育てるため、物理化学、無機化学、有機化学のみならず、数学、物理学、生物学などの「基礎科目」を重点的に履修させ、自然現象との関りを広く学習させる。さらに、選択科目として地学、工学なども履修可能とする。この2年間の学習の目的は、化学の基礎から専門基礎までの修得であり、3年次以降の専門分野への素地となる。
3. 3年次では、1,2年次の基礎の上に、より高度の専門分野を学習させる。物理化学、無機化学、有機化学の各分野では、講義と演習に加え、実験を通じて科学現象の観察並びに結果の解釈を自ら行えるよう指導する。3年次後半には、4年次の卒業研究を想定したより高度な特別実験も選択科目として開講している。
4. 最終学年である4年次では希望の分野の研究室に配属され、教員の指導のもと、これまで学修した化学の基礎を駆使して世界最先端の高度な研究を遂行する。これにより、独立して研究を行っていく能力を養う。化学の基礎知識と理学的考え方・センスを会得させ、さらにそれらを応用展開できる能力を向上させることにより、多分野で活躍できる柔軟な思考を持つ研究者・技術者・教育者の育成を目指す。また、国際性、コミュニケーション能力、課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、キャリア形成力、倫理観を養う教育を目指す。
5. 「一般教養科目」では、豊かな教養と正しい倫理観を養うために幅広い学習機会の提供に努める。また、英語科目においては、習熟度に応じた少人数制のクラス編成を実施し、国際的に活躍できる能力を養う。
6. 理科教員を養成するために、きめ細やかな教職課程を編成する。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

1. 化学が好きで、その関心を自分の力でさらに深め、理学の側からそれを社会に役立てたいという積極的な人を歓迎する。
2. 高等学校段階までの学習内容を十分理解し、より高度な専門知識を身に付けようとする意欲のある人を求める。
3. 入学試験では、特に試験科目に対して高い興味や関心を持っていることに加え、入学試験科目に課される以外の科目も広く学習していることが望ましい。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

(A 方式入学試験)

幅広い科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テストの得点を用いて選抜する。

(B 方式入学試験)

学科の特性に見合う基礎知識とそれを応用する能力及び思考力、判断力を持つ人を、独自の学力試験（数学、英語、化学）の得点を用いて選抜する。

(C 方式入学試験)

理数系科目を中心に幅広い基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、本学独自の学力試験（数学、理科）と大学入学共通テスト（国語、外国語）の得点を用いて選抜する。

(グローバル方式入学試験)

本学の特性に見合う基礎知識と思考力、判断力及びコミュニケーションスキルとしての英語力を持つ人を、本学独自の学力試験（数学、化学）と英語の資格・検定試験の成績を用いて選抜する。

(学校推薦型選抜（指定校制）)

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人で本学を第1志望とする人を、書類審査、面接、口頭試問により選抜する。

（総合型選抜(英語資格検定＋特定教科評価)）

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲と国際的な視野を持つ本学を第1志望とする人を、書類審査、英語の資格・検定試験の成績、小論文、面接、口頭試問により選抜する。

（帰国生入学者選抜、外国人留学生入学試験）

学問に対する姿勢や考え方、海外で身に付けた能力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、書類審査、資格・検定試験の成績、小論文、面接、口頭試問等により選抜する。